

烏野慶太さんの震災ヴァイオリンの音色に感動しました！！

2月27日（水）に遺愛では午前中講堂で卒業礼拝が行われ、弘前学院聖愛高等学校宗教主任である石垣雅子先生の経験に裏付けられた素敵なメッセージを聞きました。続いて、遺愛同窓会の入会式があり、最後に3月2日に卒業していく3年生にスペシャルサプライズプレゼントがありました。

本校の時間講師の中森先生の紹介で実現することになったのですが、烏野慶太さんのヴァイオリンコンサートでした。烏野さんは函館中部高校出身で、中部時代の担任が中森先生でした。卒業後は京都市立芸術大学音楽学部に進学し、さらにフライブルク大学在学期間も含めてドイツで15年間もの間、ヴァイオリンの研鑽と音楽活動をしていました。

今回、東日本大震災復興支援ヴァイオリン・プロジェクトとして、震災のために瓦礫と化した木材で、ヴァイオリン・ドクター中澤宗幸さんが製作したヴァイオリンを託され、ふるさと函館の地で演奏することになりました。メインは3月3日（日）14:00より函館市芸術ホール開演されるコンサートです。

遺愛では、本校音楽科主任の水田先生のオルガンとピアノの伴奏のもと、讃美歌2曲、日本の歌「早春譜」「ふるさと」を奏で、深い感動を生徒たちにもたらして下さいました。本当に感謝でした。

2013年2月28日（木）



ボッシュ製のオルガンとジョイント



スタインウェイ製のピアノと合奏